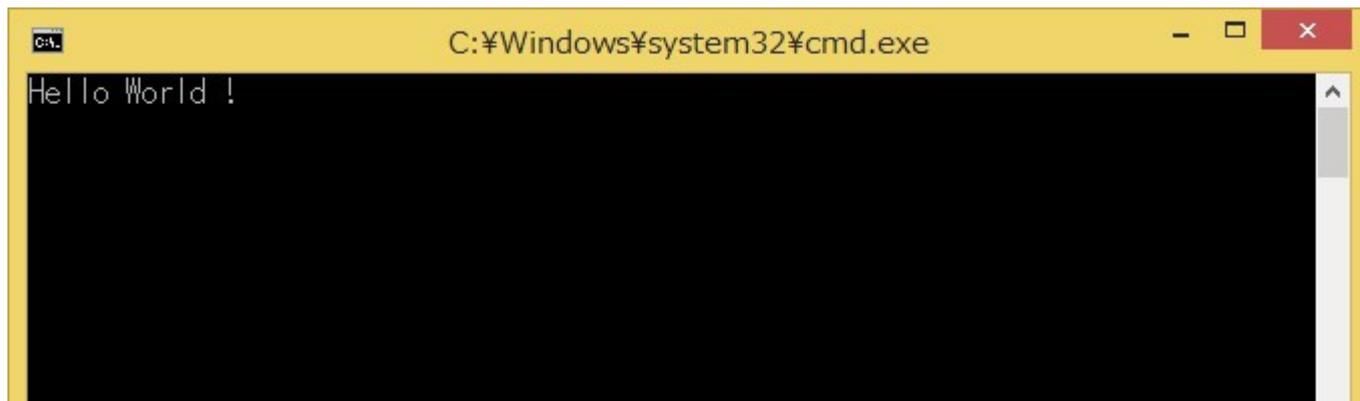


## 第1章 「Hello World！」 から繋がる道

### 1、文字の表示しかできない？



プログラムで文字を表示する。  
参考書や講座で、一番最初に作るプログラムといえばこれです。

何故かその時によく使われる文章が「Hello World！」です。  
翻訳すると「こんにちは、世界！」。正直いって意味不明な日本語です。  
(本当は意味も理由もあるんですが・・・)

そんな疑問を抱きつつ、苦労してソースを打ち込み実行させると  
Hello World ! という謎のメッセージが表示される。

**うーん、地味。**

めげずに分岐 (if) や繰り返し (for) を学ぶ。  
考えながらコツコツとプログラミングして実行する。  
画面には文字が表示される。めでたしめでたし。

でも、地味。

**こんなのでゲームやアプリを作れるの？**

画像も音もボタンも出てこない。入力はキーボードのみ、マウスは使えない。  
こんな調子じゃ、いつまで経ってもゲームなんか作れそうにない。

**そう思ったことはないでしょうか？**

私は思いました。そして目標の遠さに気が滅入りました・・・  
ちなみに専門学校で教えている学生達も同じような感じでした。

私はこれを皮肉交じりに、**ファーストコンタクト問題**と名付けています。

**ファーストコンタクト問題とは・・・**

学習するプログラム（の見た目）があまりにもショボくて、やる気を失う事

あなたがプログラミングをする時は、これに惑わされないようにして下さい。

自信を持って断言します。

Hello World！は、確実にあなたの作りたいモノへ繋がっています！

**文字だけの地味なプログラムでも、作りたいモノを実現する能力は間違いなく付きます！**

それが分かれば、**目指す道のりは思ったほど遠くないんだ！**と思えます。

ファーストコンタクト問題にハマらずに済みます。

その根拠を、次節で詳しく解説しましょう。